

# HOT TOPICS むらのわだい

## 消防団秋季点検開催される

去る10月30日(日)高山中学校校庭において、平成23年度高山村消防団秋季点検が開催されました。  
点検内容は、部隊訓練、ラッパ吹奏、幼年消防クラブによる「防火の誓い」が披露され、分列行進を行いました。  
これから冬の訪れと共に「暖房を利用することによる火災」が発生しやすい時期を迎えます。火気の取り扱いには十分注意しましょう。  
本年度の点検に際し表彰を受けた方々は、次のとおりです。

### 群馬県消防協会長表彰

○永年勤続退職消防団員表彰

- 第一分団 元副分団長 吉田 展央様
- 第二分団 前分団長 高柳 武志様  
元副分団長 都筑 俊彦様  
元副分団長 塩田 景一様
- 第三分団 前分団長 有馬 礼寿様

○精勤章

第一分団

田中 耕平(班長)  
武淵 富男(団員)

第二分団

後藤 英樹(分団長)  
星野 幸助(副分団長)

第三分団

都筑 信也(班長)  
山田 高志(団員)  
宮崎 至章(団員)

役場分団

小池 正浩(団員)

○精勤章 勤続十五年

役場分団

都筑喜久雄(分団長)

○精勤章 勤続十年

第一分団

田中 耕平(班長)  
武淵 富男(団員)

第二分団

後藤 英樹(分団長)  
星野 幸助(副分団長)

第三分団

都筑 信也(班長)  
山田 高志(団員)  
宮崎 至章(団員)

役場分団

小池 正浩(団員)

○精勤章 勤続五年

第一分団

平形 昌也(団員)  
田中 豊(団員)  
星野 宏高(団員)  
石坂 祥吾(団員)

第二分団

小山 智裕(班長)

第三分団

飯塚 直人(班長)  
押江 正人(班長)





第三区  
 武淵 一夫 様

**消防功労者・協力者表彰**

- 第三分団  
 押江 正人(班) 員 長  
 飯塚 直人(団) 員
- 第二分団  
 石坂 祥吾(団) 員
- 第一分団  
 小山 智裕(班) 員
- 第三分団  
 都筑 信也(班) 員 長  
 山田 高志(団) 員  
 宮崎 至章(団) 員
- 第二分団  
 小池 正浩(団) 員
- 第一分団  
 平形 昌也(団) 員  
 田中 豊(団) 員  
 星野 宏高(団) 員  
 石坂 祥吾(団) 員
- 第二分団  
 田中 耕平(班) 員 長  
 武淵 富男(団) 員
- 第一分団  
 都筑喜久雄(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員
- 第三分団  
 後藤 英樹(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員
- 第二分団  
 後藤 英樹(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員
- 第一分団  
 都筑 貞喜(分団長) 員 長  
 小野 悟(副分団長) 員  
 林 達也(副分団長) 員
- 第二分団  
 高柳 孝行(班) 員 長
- 第三分団  
 小淵 政己(班) 員 長  
 都筑 信也(班) 員 長

**群馬県消防協会  
 吾妻支部長表彰**

- 成績優良消防団員表彰
- 第一分団  
 都筑 貞喜(分団長)
- 第二分団  
 後藤 英樹(分団長)
- 第三分団  
 武田 昌道(分団長)
- 永年勤続十五年表彰
- 役場分団  
 都筑喜久雄(分団長)

○永年勤続十年表彰

- 第一分団  
 田中 耕平(班) 員 長
- 第二分団  
 武淵 富男(団) 員
- 第三分団  
 都筑 信也(班) 員 長  
 山田 高志(団) 員  
 宮崎 至章(団) 員
- 役場分団  
 小池 正浩(団) 員

**高山村長表彰**

- 優良消防団員表彰
- 第一分団  
 都筑 貞喜(分団長) 員 長  
 小野 悟(副分団長) 員  
 林 達也(副分団長) 員
- 第二分団  
 高柳 孝行(班) 員 長
- 第三分団  
 小淵 政己(班) 員 長  
 都筑 信也(班) 員 長

○永年勤続十五年表彰

- 役場分団  
 押江 正人(班) 員 長  
 平形 好崇(団) 員
- 永年勤続十年表彰
- 役場分団  
 都筑喜久雄(分団長) 員 長
- 第一分団  
 田中 耕平(班) 員 長  
 武淵 富男(団) 員
- 第二分団  
 後藤 英樹(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員

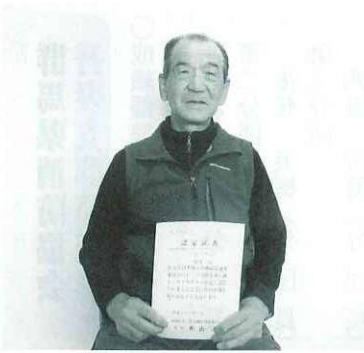
○永年勤続五年表彰

- 役場分団  
 小池 正浩(団) 員
- 第一分団  
 平形 昌也(団) 員  
 田中 豊(団) 員  
 星野 宏高(団) 員  
 石坂 祥吾(団) 員
- 第二分団  
 田中 耕平(班) 員 長  
 武淵 富男(団) 員
- 第一分団  
 都筑喜久雄(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員
- 第三分団  
 後藤 英樹(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員
- 第二分団  
 後藤 英樹(分団長) 員 長  
 星野 幸助(副分団長) 員
- 第一分団  
 都筑 貞喜(分団長) 員 長  
 小野 悟(副分団長) 員  
 林 達也(副分団長) 員
- 第二分団  
 高柳 孝行(班) 員 長
- 第三分団  
 小淵 政己(班) 員 長  
 都筑 信也(班) 員 長

## 唐澤齋さん生涯学習1級インストラクター資格取得

高山村新田地区在住の唐澤齋さんは、高山郵便局を退職後、村の人権擁護委員・保護司等の役職を歴任されながら、生涯学習の一貫として、NHK学園ビジネス書法士1級を所持していました。

この度、財団法人社会通信教育協会の生涯学習支援実践講座・生涯学習コーディネーター研修を終了し、400点満点の所、323点で見事に生涯学習1級インストラクターの資格を取得されました。唐澤さんは、若い世代の手本となるよう自らの精進に余念がなく日夜努力をされておられます。これからの更なるご活躍を御祈念いたします。



## 『若妻の日 工場見学バスツアー』

9月の第一土曜日は、「若妻の日」です。

8月12日（金）、本来の「若妻の日」より早いのですが「若妻の日」工場見学バスツアーを開催しました。当日はうだるような大暑暑い日でしたが、夏休み中とのことで大人14名、3歳児く中学生24名、「緑のふるさと協力隊」&「地域おこし支援隊」4名の合計42名が参加しました。

高山村を出発し、まずは「カリカリ梅工場」を訪問。工場が夏季休暇中で、動いている製造ラインを見学できなかったのですが、意外とアナログな方法で生産されていました。通常のカリカリ梅の塩分が3・5〜5%なのに対し、熱中症対策として6〜8%と高めに設定した「熱中カリカリ梅」の注文が殺到し、計画停電が予定されている今年はいくぶん通常の10倍だそうです。



次に「榛名牛乳」を訪問。まず、牛乳がどの

ように作られているのか15分程度のビデオレクチャーを受け、いざ工場内へ。階段の上り下りが激しく、牛乳がものすごい速さでパックに詰められている製造ラインを見る時には、もうヘトヘトでした。牛乳の入っていない（←）500cc牛乳パックと「牛乳に相談だシール」をお土産にもらい、牛のオブジェの前で記念撮影をしました。

そして昼食後、「しんとウイナリ」を訪問。こちらも収穫時期ではなかったのですが、製造ラインは動いていませんでしたが、説明をしてくれるおばさん（お姉さん？）の面白い語り口調が印象的でした。

今年度は、「夏の計画停電」の影響で、工場見学を実施している施設を探すのに一苦労でした。（食品工場に絞ったことが敗因？）大人になつてからの工場見学は、子供時代と線とは異なり、何だか新鮮で楽しかったです。皆様もご家族で行かれてみてはいかがでしょうか？



10/20

## 高山村敬老会

10月20日、高山村敬老会が村民体育館にて盛大に行われました。平成24年4月1日迄に75歳以上となる対象者728人のうち、約半数の方にお越しいただきました。

演芸では、子持ギターマンドリンクラブの懐かしいメロディーの演奏、民踊部・老人クラブ連合会・更生保護女性会の方による踊り、りんどうコーラスによる美しい歌声、三国けんさんによる歌謡ショーと楽しいひとときを過ごしていただきました。

75歳以上のみなさん、これからも益々お元気で活躍してください。



10/26

国際宇宙ステーションに長期滞在している古川宇宙飛行士とのライブ交信教育イベントが開催されました。

10月26日(水)の夜、いぶき会館にて、「高山宇宙探検隊 国際宇宙ステーションライブ交信教育イベント」が開催されました。

これは、村がJAXA(宇宙航空研究開発機構)の教育プログラムに応募し実現したもので、今回の古川宇宙飛行士が国際宇宙ステーション(ISS)に滞在期間中に全国5カ所で開催されたイベントです。尚、群馬県内では初の試みとなりました。

この交信イベントに向けて、古川宇宙飛行士と実際に交信をするメンバーを高山小学校・中学校、及び中之条高校から募集をし、小学生7名、中学生2名、高校生2名の子どもたち(ヒカルプロジェクトメンバー)がこの交信に向けて8回の学習会を県立ぐんま天文台の先生方のご協力をいただきながら行ってきました。

交信当日は、ヒカルプロジェクトメンバーによる学習発表、ぐんま天文台の古在会長による講演。そして、古川宇宙飛行士との交信となりました。交信ではまず最初に佐賀県立宇宙科学館の子どもたちと古川宇宙飛行士との交信の様子を約10分間みた後に高山村の子ども



交信の様子



学習発表

たちとの交信を約10分間行いました。「古川さんはお医者さんと聞きました。が、宇宙に行ってお医者さんでよかったですか?」  
 「初めて宇宙に行ったとき、どんな気持ちになりましたか? また、宇宙でしか味わえない楽しいことは何ですか?」  
 「宇宙から見ると、一番わかる地球の環境問題は何ですか?」「無重力の世界で不便なことは何ですか?」などの質問9問を行い、最後は、古川宇宙飛行士から「高山村は星空がきれい」と聞ききました。これからも素晴らしい環境を守ってください」とのメッセージをいただきました。

10/27・28

緑のふるさと協力隊関東甲信・東海ブロック交流会in高山

緑のふるさと協力隊関東甲信・東海ブロック交流会in高山が、10月27日・28日の2日間で開催されました。

県内外の市町村から30名の方が参加し、1日目は、竹皮の携帯ストラップ作りや村めぐり、3時のおやつには地元酒まんじゅうやおやき。夜の懇親会では、松井ゆき子さんにご指導いただき高山のお正月料理を味わっていただきました。他市町村の方も特産品を持ち寄り紹介していただきました。

2日目のふるさとフォーラムでは、「集落に若者が入って何を目指すか」をテーマに議論しました。



お正月料理作り



懇親会で作詞作曲の歌を披露



開会式の様子

「協力隊が地域に入り、活力・起爆剤になり、双方が刺激を受ける。」協力隊が、もともと村の持つ持っている色に新しい色を加えて、当たり前になっている事を再認識・再発見できる。」など活発な意見が出て、2日間の交流会は、高山村を知ってもらおう良い機会となりました。

10/29

## 第9回福祉まつり開催

去る10月29日(土)、いぶき会館にて、福祉まつりが開催されました。

当日の舞台発表では、民踊の他、フラダンスも盛り込まれ、来場者に楽しいひとときを過ごしていただきました。

また昼食時には、「すいとん」「焼きそば」「焼きまんじゅう」が振る舞われ、できたての絶品を堪能していただきました。

午後のバザーでは、各家庭から寄せられた品物が会場一面に並べられ、1時間



舞台発表



福祉バザー会場

足らずで完売となりました。

地域の皆さまをはじめ、早朝から準備してくださいましたボランティアさん・ご来場いただきました皆さまのお心遣いに感謝申し上げます。お礼とさせていただきます。大変ありがとうございました。

尚、バザー収益金につきましては、地域福祉活動費として、有効に活用させていただきます。

### ○バザー収益金

112,802円

10/31

## 東日本大震災に伴う避難所(わらび荘)閉鎖について

3月11日(金)に発生した、東日本大震災は、未曾有の被害と尊い生命財産を奪い去ってしまいました。さらに、東京電力福島第一原発の事故により、多くの被災者が途方に暮れる日々を過ごした光景は、忘れることはできません。

高山村では、いち早く被災者の受け入れを表明し、4月1日から本格的に受け入れをしました。避難されてきた方々は、福島第一原発から20km圏内の浪江町、双葉町、富岡町、南相馬市等からわらび荘へ避難してきました。ピーク時47人の方々が避難しておりましたが、福島県内の仮設住宅等の整備も順調に進んでいることなどから、各避難所から福島県に戻ってきてほしいとの呼びかけや福島県の方針を受けて、10月31日(月)をもって避難所(わらび荘)を閉鎖いたしました。

大震災発生から、村民皆様には義援金・支援助資等のご協力をいただき誠にありがとうございました。日本赤十字社及び群馬県を通じて被災地に送金・発送いたしました。

また、わらび荘に避難している人の為にと食生活改善推進員の皆さんには、月1回旬の野菜などを使った手料理で元気づけていただきました。

さらに、村民皆さんから、手打ちそば・米・野菜・花・遊具などを提供していただきました。厚くお礼を申し上げます。

げます。

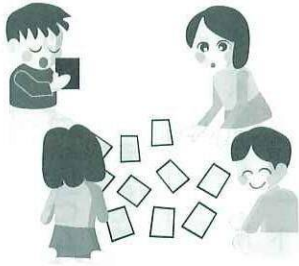
浪江町から避難されていた佐藤さんは、「高山村の皆さんに大変良くしていただき心から感謝しています。前の避難所と比べると環境も良く、わらび荘での生活は天国でした。」と話してくれました。

また、富岡町から避難されていた菅野さんは、「7カ月間、高山村の皆さんに大変お世話になりました。高山村のことは一生忘れません。仮設住宅の暮らしが落ちついたら、また、高山村にきたい。」と話してくれました。

避難されていた方々は、福島県に戻られた方、群馬県内にアパートを借りた方など色々ですが、高山村に2世帯の方が残り新たな生活を始めました。東日本大震災で被災した、岩手・宮城・福島東北3県の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。



荒木村長に御礼の挨拶に来られた避難者の皆さん



11/3

## 第7回高山かるた大会が開催されました

11月3日(木)いぶき会館において、高山かるた実行委員会(平形富二夫委員長)主催による「第7回高山かるた大会」が開催されました。村内の小学生98名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

大会結果は、次のとおりです。

### 【低学年の部】

優勝 判形子ども会A

五島 晃・鈴木菜弥・鈴木賢伸

準優勝 本宿子ども会B

武淵隼大・都筑彩弓・佐藤夕夏

第3位 新田子ども会B

佐藤悟大・唐澤武蔵・大淵花乃

### 【高学年の部】

優勝 本宿子ども会A

林 弘基・大津彩音・佐藤春奈

準優勝 梅・茶子ども会

平形竜一・田村風月・戸塚楽々

第3位 戸室子ども会

### 【混合の部】

優勝 原子子ども会B

飯塚一葉・倉田穂乃香・星野紬瀬

準優勝 梅・茶子ども会

星野夢弥・星野終綺・田村月音

第3位 本宿子ども会A

稲川亜美・田村美依奈・佐藤千尋



11/11

## 林利雄氏 旭日双光章を受章

この度、秋の叙勲において、前高山村農業委員会会長 林利雄氏が、永年にわたる農業振興に尽くされた功績により、旭日双光章の栄に浴されました。

林様は去る11月11日、農林水産省に於いて、勲章並びに勲記の伝達を受け、その後、皇居宮殿「豊明殿」において皇太子殿下に拝謁を賜りました。

このことは本村にとつても誠に榮譽であり、この上ないよるごびであります。

なお、林様におかれましては、健康に留意されまして、

今後とも本村発展のためにご尽力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝をお祈りいたします。誠にありがとうございます。



11/11

### 小淵さきよさん

### 黄綬褒章を受章

この度、秋の褒章において、吾妻養護老人ホーム看護職員の小淵さきよさんが、永年にわたる看護に尽くされた功績により、黄綬褒章の栄に浴されました。

小淵御夫妻は去る11月11日、厚生労働省に於いて、褒章並びに褒状の伝達を受け、その後、皇居宮殿「春秋の間」において皇太子殿下に拝謁を賜りました。

このことは本村にとっても誠に荣誉であり、この上ないよろこびであります。

なお、小淵様におかれましては、健康に留意されま



して、今後も老人ホーム入所者の健康管理にご尽力下さるようお願い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。誠にありがとうございます。



11/12~14

### 『高山村文化祭』

～みんなで築こう 薫り高き文化の高山～

1年間の学びの成果の発表の場である高山村文化祭が11月12日(土)～14日(月)までの3日間を中心に、いぶき会館等を会場にして盛大に開催されました。

文化協会の各部の作品、学校・幼稚園・保育所や、村内の各種団体・個人・施設等の多彩な分野の作品などが展示されました。

また、13日(日)には、文化協会の第9回合同発表会で7部門の発表が行われ、多くの来場者で賑わいました。その中で伝統芸能文化である「三島神社太々神楽」の公演もありました。村の伝統芸能では後継者不足などが問題視されていますが、今回はより多くの方に関心を持っていただけた良い機会となりました。



11/13

### 高山小の宮武知也君

将棋名人戦で見事優勝

11月13日、第15回高崎市小学校将棋名人戦において、高山小学校3年 宮武知也君が優勝しました。

宮武君は、今年3月から判形の知高歳雄さんに教えてもらい将棋を始めましたが、今では大人もかなわない腕前となりました。

「練習は、どのくらいしていますか？」と質問すると「毎日コンピュータのネット表示で練習しています！」と元気に答えてくれました。

